

議事概要

日 時 : 平成 19 年 10 月 9 日 (火) 13:30~15:30

場 所 : 候補地現場確認 (4 箇所) 及び確認後のまとめ

候補地 NO, 1 1 … 滝呂町 14 丁目 144 番地の 1 外 6 筆

※滝呂球場、滝呂小学校付近山林

候補地 NO, 2 1 … 笠原町下原 1264 の 1

※戦没者慰霊塔下手山林

候補地 NO, 2 7 … 笠原町梅平 3986 の 1

※笠原グリーンセンター下手交差点付近

候補地 NO, 3 0 … 笠原町天王下 4114 の 2 外 3 筆

※製陶会社裏手山林

参加委員 : 島崎委員、兼田委員、豊田委員

ー 確認後のまとめ時における主な意見等 ー

(事務局)

本日確認を行った 4 箇所について、それぞれ意見をお願いします。

ー 各候補地に対する主な意見 ー

(候補地 NO, 1 1)

- ・土石流危険渓流や砂防指定地が含まれるなど傾斜地であり、好ましくないのではないかと。
- ・山林下手からの進入路は狭く、山林上手は、大規模住宅団地のなかを通過することとなりアクセスがよろしくない。
- ・滝呂球場と運動公園で可能な平場を使い尽くしている感じであり、これ以上の平場の確保は困難ではないかと。
- ・程よい山林であるため、火葬場が存在する場合、イメージ的には悪くないが、そこへのアクセスがよろしくない。
- ・小学校の通学路を含んでいないか (要確認)。

(候補地 NO, 2 1)

- ・急傾斜地というよりは「がけ」という印象であり、造成に多額の費用を要することが推察され、開発に不適であると感じられる。
- ・進入路の確保が困難。
- ・建築という観点からのみ言えば、斜面地に建築することから斬新な火葬場建設となるため特徴的な施設になると想像できる。しかし、慰霊塔の下手に火葬場が存在することが適当かどうかを検討する必要がある。

(候補地 NO, 27)

- ・奥行が狭すぎるし、背後の河川との高低差が大きいため、十分な平場が確保できず使いづらい。
- ・埋立地であるような感じだが（要確認）。
- ・工業地であり、大きな工場の中心部に火葬場を造るイメージとなる。この場所には火葬場よりも他の的確な土地利用があるのではないか。
- ・道路状況は良いが、反面、幹線道路からいきなり火葬場というイメージには違和感がある。

(候補地 NO, 30)

- ・進入道の確保が困難。
- ・住宅地から見下ろせる位置関係となることと、比較的大きな住宅地から 200 メートル弱（直線距離）しか離れていないため、住民の心理面に影響するのではないか。
- ・砂防指定地であるため造成は困難。
- ・十分な平場を確保するためには、かなりの切り土（造成）を行う必要がありその残土処理が問題となるのではないか。